

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA）		
ナンバリングコード	E21201	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2 年／前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002419	クラス名	後藤ゼミ
担当教員名	後藤 厳寛		
履修上の注意、 履修条件	必修科目です。個人の積極性と、グループワークでの協調性に期待します。		
教科書	ゼミの中で順次、指定します。		
参考文献及び指定図書	・日経キーワード 2025-2026（日経HR） ・2025→2026年版 図解まるわかり時事用語（新星出版社） ほか		
関連科目	観光学入門、観光ビジネス論、社会科学入門、社会調査法、地域ブランド論、地域イノベーション論、フィールドスタディ(地域マネジメント)ほか		

○基本情報		
授業の目的	住み良い社会や環境にやさしい暮らしといった「サステイナブル社会づくり」への貢献を目的に、地球規模のグローバルな視点と視野を保ちつつ、地域レベルでのローカルな活動を実践する、グローバル人材としての教養と課題解決能力の修得を到達目標とします。	
授業の概要	グループワークで、インターネットやSNSなどメディアを使って、関心ある国や地域の特徴、すなわち地理・歴史を知ることから始めましょう！ 気になったニュースやイベント、人物の写真や映像、ドラマ、映画などを見つけて、その背景となるエリアやコミュニティの特徴・特異性を調べて、何故そこが気になったのか、関心を持った理由や動機など原因を探究します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	国連関連機関や国際NGO、新聞社での海外勤務をはじめ、農林水産省や山梨県の研究機関を経て佐賀県（農林水産商工本部）幹部職員との兼務で、(独)中小企業基盤整備機構の地域活性化支援アドバイザー(新連携事業)、(一財)九州産業技術センターのコーディネーター(九州成長戦略事業創出推進事業)ほか多種多様な実務経験あり	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域の現状を把握して、解決すべき課題の抽出を行える。		20点	20点
【知識・理解】	調査結果を整理・分析し、レポートにまとめることができる。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	分析結果を客観的に説明できる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	論理的に分析し、考察することができる。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
・ゼミでの議論内容や考察が優れている学生には加点します。 ・発表や質疑応答、プレゼンテーションなどが優れている学生には加点します。 ・予習(事前準備)、復習(振り返り)などゼミ前後の積極性も評価します。 ・レポート課題は次回以降のゼミ中に講評・解説します。 上記に加えて、ゼミ参加状況をもとに以下のように総合的に判断します。 [Sレベル]ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【充分に】満たしている。 [Aレベル]ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【ほぼ】満たしている。 [Bレベル]ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【かなり】満たしている。 [Cレベル]ゼミの趣旨を理解し、単位を修得するために達成すべき到達目標を【一定量】満たしている。

○その他
■ 課題・質問等の受付方法 ・課題の遣り取りには、Google Classroomを使用します。 ・質問や相談、不明な点がある場合は、メールで問い合わせるか、オフィスアワーを確認し、19号館4階の後藤研究室まで尋ねに来てください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 後藤 厳寛	授業コード	E002419
学修内容					
1. オリエンテーション 本講義の目的や内容について説明します。					
予習	自分の出身地(生誕地または生育地)の地理や歴史、名所などについて調べておく				約2時間
復習	説明した内容をまとめておく				約2時間
2. 情報の取得方法 社会の課題を抽出する上で必要な、情報の取得方法・入手手段などについて説明します。					
予習	最近の社会情勢や話題で気になる課題を調べておく				約2時間
復習	ゼミで紹介された社会問題について自身でも調べておく				約2時間
3. 情報の共有と分類(1) 社会課題に関する情報の共有・分類について説明します。					
予習	前回の社会問題以外にも、類似する課題などについて自身でも調べておく				約2時間
復習	ゼミで気になった話題や社会課題について取りまとめておく				約2時間
4. 情報の共有と分類(2) 社会課題に関する情報の共有・分類について説明します。					
予習	前回の社会問題以外にも、類似する課題などについて自身でも調べておく				約2時間
復習	ゼミで気になった話題や社会課題について取りまとめておく				約2時間
5. 情報の分析(1) 情報の分析方法や分析ツールを紹介します。					
予習	情報分析とは何かを考えておく				約2時間
復習	分析方法や分析ツールについて整理しておく				約2時間
6. 情報の分析(2) 情報の分析方法や分析ツールを紹介します。					
予習	情報分析とは何かを整理し、自分でも分析ツールを探しておく				約2時間
復習	分析方法や分析ツールについて整理しておく				約2時間
7. 情報の分析(3) 社会課題の実例を取り上げて、様々な分析ツールを実際に使ってみます。					
予習	情報分析とは何かを整理し、自分でも分析ツールを探しておく				約2時間
復習	分析方法や分析ツールについて整理しておく				約2時間
8. 中間報告プレゼンテーション(1) 個人またはグループで、社会課題の実例を分析した結果について、取りまとめます。					
予習	プレゼンテーションの準備をしておく				約2時間
復習	議論の結果を取りまとめておく				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 後藤 厳寛	授業コード	E002419
学修内容					
9. 中間報告プレゼンテーション(2) 分析結果をプレゼンテーションし、議論します。					
予習		議論の結果を読み込んでおく			約2時間
復習		議論の結果をまとめておく			約2時間
10. 中間報告プレゼンテーション(2) 個人またはグループで、分析結果をプレゼンテーションします。					
予習		プレゼンテーションの準備をしておく			約2時間
復習		議論の結果を取りまとめておく			約2時間
11. グループワーク・ディスカッション(1) プレゼンテーションの結果・結論について、議論します。					
予習		プレゼンの結果・結論から何が言えるかを考えておく			約2時間
復習		議論の結果を取りまとめておく			約2時間
12. ゲストレクチャー プレゼンテーションの内容に関連する社会課題について、現場で活躍するゲストからのレクチャー。					
予習		ゲストに対して、プレゼンの結果・結論から質問を考えておく			約2時間
復習		議論の結果を取りまとめておく			約2時間
13. グループワーク・ディスカッション(2) ゲストレクチャーを受けた感想について議論します。					
予習		ゲストレクチャーから何が言えるかを考えておく			約2時間
復習		議論の結果を取りまとめておく			約2時間
14. 最終報告プレゼンテーション(1) グループワーク・ディスカッション結果について、グループ毎にプレゼンテーションし、議論します。					
予習		プレゼンテーションの準備をしておく			約2時間
復習		議論の結果を取りまとめておく			約2時間
15. 最終報告プレゼンテーション(2) グループワーク・ディスカッション結果について、グループ毎にプレゼンテーションし、議論します。					
予習		プレゼンテーションの準備をしておく			約2時間
復習		議論の結果を取りまとめておく			約2時間
16. 期末試験 実施しません					
予習					
復習					